



東京外国語大学
TUFS Cinema

東京外国語大学スペイン語120周年特別企画

キューバ映画上映会

上映作品『低開発の記憶—メモリアス—』



革命から
キューバ危機へ

入場
無料

解説・トークセッション

比嘉 世津子 (Action Inc.代表)

久野 量一 (東京外国語大学)

司会: 新谷 和輝 (東京外国語大学言語文化学部4年)

[上映作品のあらすじ]

1961年、革命後、妻や家族が国外に脱出するなか、作家のセルヒオは一人ハバナに残ることを決める。周囲の人物や社会を軽蔑し、孤独に生きる彼は、激変する街のなかで、自らの記憶にすがろうとする。当時のドキュメンタリー映像をふんだんに使い、革新的な映像手法を用いて革命後のキューバをみつめる、キューバ映画史上の最高傑作。

【監督】トマス・グティエレス・アレア

1968 / キューバ / スペイン語 / 97分 / モノクロ / 日本語字幕付

日時

2017年

6月9日[金]

開映16:00 (開場15:50)

会場

東京外国語大学

アゴラ・グローバル / プロメテウス・ホール
東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨駅」徒歩5分

その他

入場：無料 / 先着順 / 申込み不要

定員：501名

主催：東京外国語大学総合文化研究所

協力：Action Inc.

開催趣旨、トークの内容などの詳細はWEBをチェック



【お問合せ】東京外国語大学 広報マネジメント室

TEL 042-330-5150 Email soumu-koho@tufts.ac.jp